

開催日時：平成20年6月23日(月)15:30～17:00

敬称略

学校評議員：原 修一郎、小山 ひさ子、湯本 弘、有賀 透、岡村 寛、池田 仁士(黒岩 拓吾：欠席)  
学 校 側：学校長、全・定教頭、事務長、全・定教務主任、教育課程・学習指導委員長、  
進路指導主任、生徒指導主任、生徒会主任、職場代表

1. 開会の言葉

2. 学校長挨拶

3. 自己紹介

4. 本校の概要と現況説明

(1) 平成20年度学校評価について

全日制(教頭説明)

今年度の重点目標に「中野実業高校最終年度に当たり、更に地域に愛され期待される学校づくりを実践し、その良き伝統をふまえ新総合学科高校への円滑な移行を図る」と掲げ、諸指導を展開している旨説明。新たに「特別支援教育の充実」と「外部からの学校評価」に取り組む姿勢をご理解いただいた。

定時制(教頭説明)

生徒数も増加し多様化している生徒の実態に鑑み、「基礎学力を身につけさせる」、「社会性を身につけさせる」、「自主性を高めさせ、自己表現を豊かにさせる」ことを重点目標に、様々な支援体制の確立を図る旨説明。定時制特有の教育内容についてご理解いただいた。

(2) 本年度学習指導計画について(教育課程・学習指導委員長)

生徒の生活実態調査を実施し、生徒の実態を把握し学習指導・進路指導に活かす旨、および公開授業や授業アンケートを実施し、教員の指導力向上および授業改善を図る旨説明。また、不振者向け補習や進学対策補習を実施することや資格取得支援も積極的に行う旨も説明した。

(3) 進路状況について(進路指導主任)

平成19年度卒業生の進路状況を説明。就職活動では、生徒や保護者の地元志向が強く、また地元企業からも信頼されていて結果も良好であった旨、企業では「生きる力」を持った生徒を求めている旨、進学は、指定校制度の活用がほとんどである旨、就職49%、進学51%であった旨等説明した。

また、6月現在本年度の卒業予定者178名中100名を超える生徒が就職希望であるが、民間企業を取り巻く経済環境は厳しく採用も厳しくなる可能性がある旨、進学指導では、一昨年度合格者があった信大工学部にも再度生徒を送りたい旨説明した。

(4) 生徒指導関係(生徒指導主任)

多くの生徒が落ち着いた学校生活を送っていて、反省指導対象者は今年度になって1名である旨、今後も地道な指導を継続していく旨説明した。

(5) 生徒会活動・クラブ活動状況(生徒会主任)

3年生が立志館生徒の「良き見本」となってクラブ活動や生徒会活動を引っ張っている旨説明。陸上部は2名(3種目)がインターハイ出場を決めた旨も報告した。

## 5. 学校評議員からの意見・感想

### A 評議員

- ・いつも気になることだが、3年生の教室・実習室の清掃状態はどうか。  
全日教頭：満点とは言えないが、整理整頓を心がけている。
- ・定時制の活動目標の「心のケア」はどうなっているか。  
定時教頭：不登校からの立ち直り支援を中心に指導している  
学 校 長：様々なケースがあるが、ケースバイケースで精一杯対応している。
- ・聴講生として地域の方々も授業を受けられるようにしたらどうか。  
全日教頭：聴講生ということになれば単位認定など制度的な問題もあるが、外部講師活用授業時等には、公開授業とし気軽に聴講していただけるようなことを考えたい。

### B 評議員

- ・多様な生徒それぞれが将来の見通しを持って生活できるような学校にしてもらいたい。実高の校風を活かして創造力豊かな生徒を育ててほしい。

### C 評議員

- ・本評議員会の前に、執行部生徒が堂々と学校生活を紹介してくれた姿に感心した。コミュニケーション能力を育成するために、生徒達にどのような「場」を与えているか。  
全日教頭：受動的な授業展開に終始することのないよう心がけている。例えば「課題研究」などで生徒全員に自らの研究成果等を全員の前で発表・説明させる場面を設定している等である。

### D 評議員

- ・中学側としても学習障害のある生徒が高校に進学していることは承知している。「授業がつまらない、わからない」という生徒も多い。中学校では「わかる授業」「考えさせる授業」を心がけ、一人年に一回は授業公開を実施し反省会も開催しスキルアップを図っている。エネルギーのある子を育てていきたい。

### E 評議員

- ・立志館の生徒との共同生活で校内に活気あふれる学校となった。専門性を高め、進路保障に努めて欲しい。  
進路主任：地元企業や進路実績のある大学・専門学校に理解を求め、進路先の確保に努めている。  
学 校 長：企業が求めているのは専門性以上に「意欲のある」生徒である。何事にも全力投球できる生徒を育てたい。

### F 評議員

- ・ケータイ・ネットのマナー教育を学校でも積極的に取り組んでいただいているが、まだまだ心配な面がある。保護者の責任も感じている。家庭との連携を強めたい。中野市周辺で不審者が出没している。安全確保に留意して欲しい。部活動の充実を図って欲しい。  
学 校 長：ケータイ・ネットの問題については、ある程度の情報はつかんでいる。保護者にも協力を求め、常に健全な利用を指導していきたい。

## 6. 閉会の言葉

第二回は2月13日(金)「課題研究発表会」終了後に設定予定。